

橋田暁子さん(片山)

家族の中心となって農業を営む一方、余暇を山登りなどをして有効に過ごしているとても朗らかな橋田さんです。



主人が山の仕事を
している関係で子供
が小さいときから、
家族で近くの山に登
りに行っていました。
剣山、次郎笈、工石
山。頂上へ着いて
新鮮な空気を吸った
ときの気持ちのいい

こと。それまでのし
んどさんで忘れて
しまいます。
ベトナムアヤペゴ
ニアなど花も育てて
います。とにかく自
然に接することが好
きで、農業も楽しく
やっています。



徳永安雄さん
(浜改田)

日頃の海洋環境の美
化保全活動に対して全
国海岸協会から表彰を
受けました。

一時期海岸がひどく汚
れた状態で、大雨のあと
にごみ捨て場みたいでし
た。いろんな人たちの協
力を得て運動をしました
みんなの協力できれい
にできたことが意義深い
と思います。この表彰状
はみんなのものですね。
今では老人クラブなど
を中心に海岸をきれいに
しようというムーブが高
まっています。このム
ドを次の世代にも引き継
いでいかなければなりま
せん。

部落差別は、明治以後なぜ

残されてきたのでしょうか ⑬

高知県における水平社

全国的に大きく盛り上がっ
た水平社運動に、本県の人び
とはどのようにかかわってき
たのでしょうか。

一九二二(大正十一)年、

京都岡崎公会堂での全国水平
社創立大会に、本県から吾川
郡弘岡中ノ村の国沢亀はじ
め、数人の有志が参加しまし
た。これら有志たちは大会の
趣旨に心から賛同し、県内各
地の同志たちに呼びかけ、翌
大正十二年、高知県水平社を
結成し、本部を土佐郡小高坂
村(現高知市宮前町)におき
ました。

委員長に選ばれた国沢亀は、
出身地の弘岡をはじめ、県下
各地の大立社支部結成に奔走
するなど、同志の先頭に立っ
て活動しました。しかし、水
平社運動が他の労働・農民運
動などと結びつき、発展する
ことを恐れた官憲は、国沢亀
活動家を厳しく弾圧しました。
一九二三年四月十一日、長
岡水平社結成大会が、後免町

同和教育
シリーズ

「日の出座」で開かれたとき
国沢の全国大会報告と創立趣
旨演説に対して、立合いの大
舞臺警察署長から「弁士中止」
の警告が数回ありましたが、
これを無視して演説を続けた
ために、翌日逮捕されるとい
う事態になりました。

この事件を
目撃した当時
の高知新聞記
者高水宗範氏
の聞き書きの
一部を紹介し
ます。

……国沢亀
が例の調子で
弁舌をふるうて、署長か
ら「弁士中止」を何回も受け
たが、取り合わずに続けてや
りよるうちに「逮捕」の音が
かかった。バラバラと巡査
が演壇にかけあがったが、す
ばしこハ男じや、スツと舞台
の裏から逃げてしもうた。
その翌日、「大橋通りで国
沢亀が大勢の巡査にかこまれ
て逮捕されよる」というので
飛んで行くと、大橋通り

の今の「第三わし」の所に下
駄屋があった。いっぱいの人
だかりをかき分けて見ると、
荷車の上に国沢が車夫姿で仁
王立ちになり、片手に短刀を
振りかざしておる。そのまわ
りを六、七十人の巡査が取り
かこんでおった。……スキを
みて二、三人の巡査が、車か
らひきずりおろそうとする。
国沢はその腕をふり払うよう
に短刀をふりおろす。巡査は
バツととびさがる。……なん
べんも、それを繰り返す。……
国沢は、大声で「おんしら
あにや、押さえられんぞ。署
長を呼んでこい。署長を……」
とうとう、高知署の署長が、
たしかシバサキジマという
たと思うが、……ともかく、
高知署の署長が、その場へ来
て説得して、国沢は署へつれ
ていかれた。……その翌日じ
やと思うが、高知署へ行った
折、取調室に連れて行かれる
国沢と面下すれ違った。
「大西弁護士にいうてくれ」
と伝言をたのまれ、大西正幹
に連絡したことを覚えておる。